

2021年3月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社ナガワ (証券コード : 9663)

2021.1.25

2021年3月期 第3四半期 連結決算概況 (2020/4/1 ~ 2020/12/31)

B/S	4
P/L	5
要素別売上高増減	6
四半期ごとの売上高推移	7
セグメント別	8
ユニットハウス事業	9
モジュール・システム建築事業	10
建設機械レンタル事業	11
設備投資額と減価償却額	12

2021年3月期 業績見通し (2020/4/1 ~ 2021/3/31)

業績見通し	14
累計進捗率	15
セグメント別	16
ユニットハウス事業	17
モジュール・システム建築事業	18
建設機械レンタル事業	19
設備投資額と減価償却額	20
免責事項	21

2021年3月期第3四半期
連結決算概況

連結決算概況—B/S

	FY2019 Q3	FY2020 Q3	FY2021 Q3	YonY	
	18年4-12月	19年4-12月	20年4-12月	増減	増減率
※単位：百万円					
流動資産	24,189	23,145	23,508	363	1.6%
貸与資産	7,985	8,114	8,643	529	6.5%
固定資産	20,486	24,242	27,080	2,837	11.7%
総資産	44,676	47,388	50,589	3,201	6.8%
流動負債	3,081	3,357	3,627	269	8.0%
純資産	41,469	43,902	46,820	2,917	6.6%
自己資本比率 (%)	92.8%	92.6%	92.6%	-	-
1株当たり純資産 (円)	2,713.40	2,839.18	3,005.49	166.31	5.9%

連結決算概況—P/L

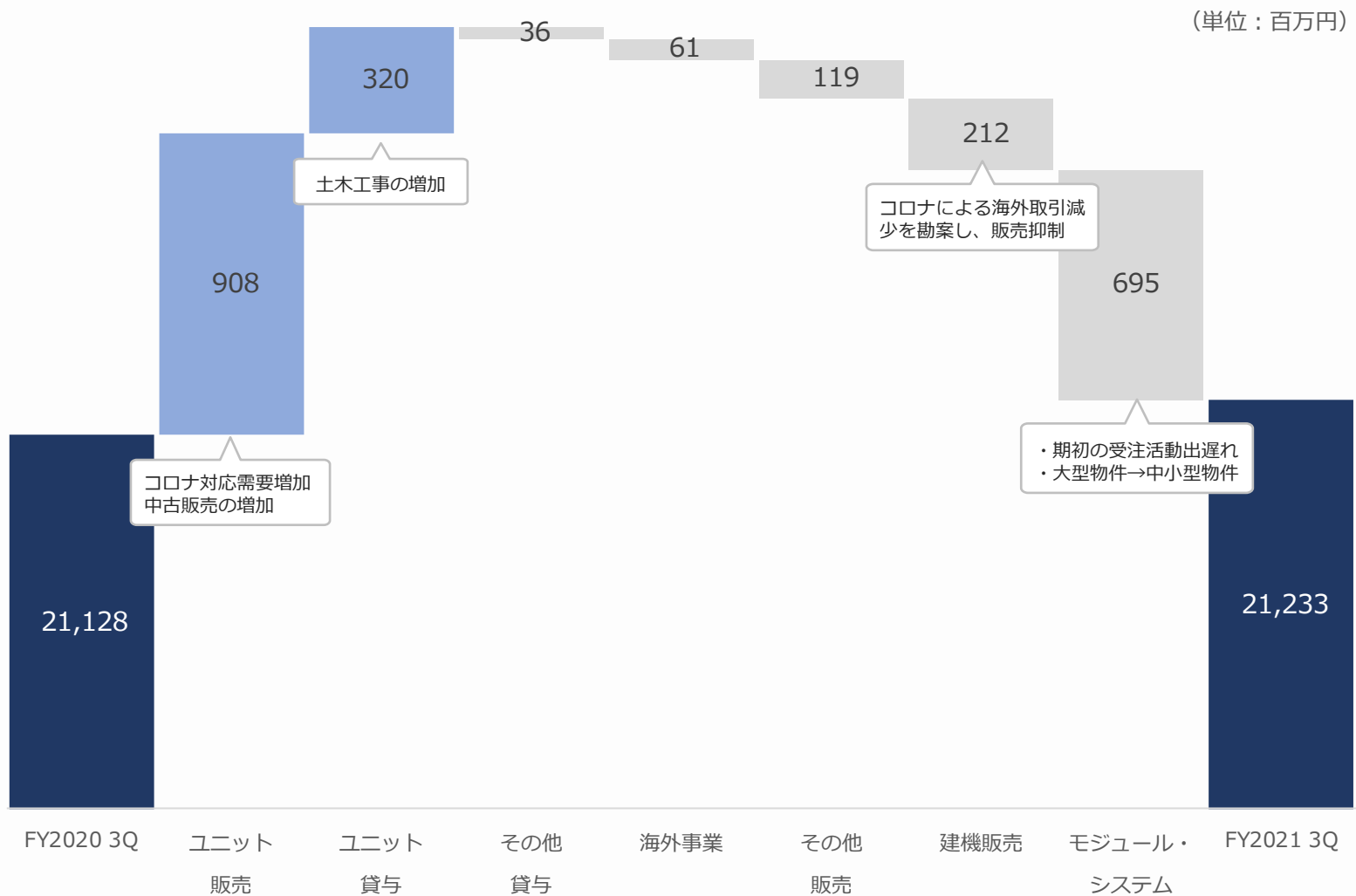
	FY2019 Q3	FY2020 Q3	FY2021 Q3	YonY	
	18年4-12月	19年4-12月	20年4-12月	増減	増減率
売上高	20,790	21,128	21,233	104	0.5%
販売収入	10,476	10,674	10,489	△184	△1.7%
レンタル収入	10,313	10,454	10,743	289	2.8%
売上総利益	8,133	8,152	8,967	815	10.0%
営業利益	2,850	2,576	3,222	646	25.1%
経常利益	2,996	2,760	3,462	701	25.4%
当期純利益 (※)	1,960	1,756	2,314	557	31.8%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

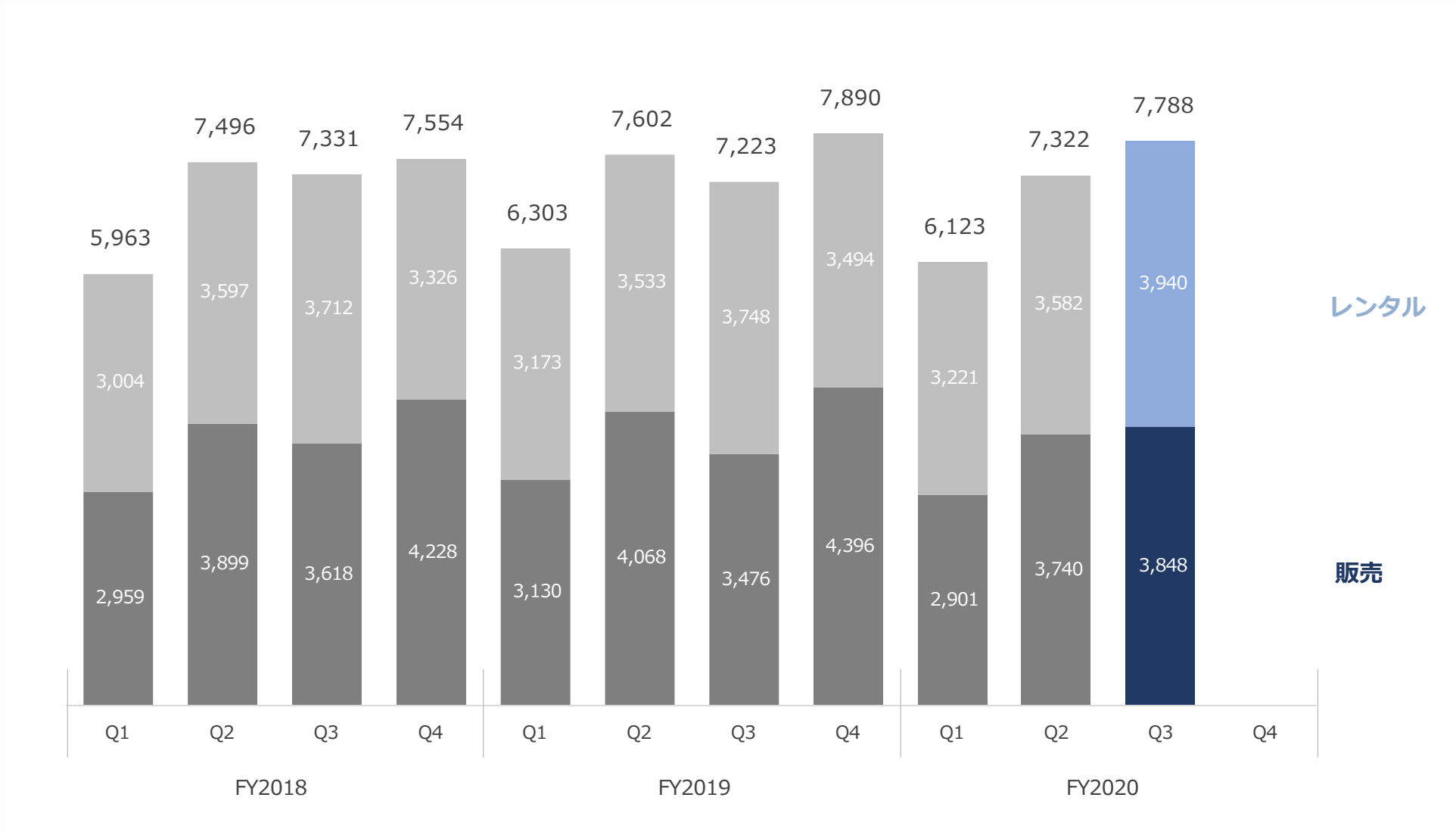
連結決算概況—要素別売上高増減

第2四半期に引き続き、ユニットハウス事業が販売・レンタルともに堅調に推移した。

モジュール・システム建築事業の落ち込みをユニットハウス事業の「新棟販売」「中古販売」「レンタルハウス」が総じてカバーし、売上高全体で前期比増収となった。モジュール・システム建築事業は大規模投資が抑制され、小型物件中心となり減収。建設機械レンタル事業は、北海道道南地区の停滞により減収となった。



連結決算概況一四半期ごとの売上高推移



連結決算概況－セグメント別

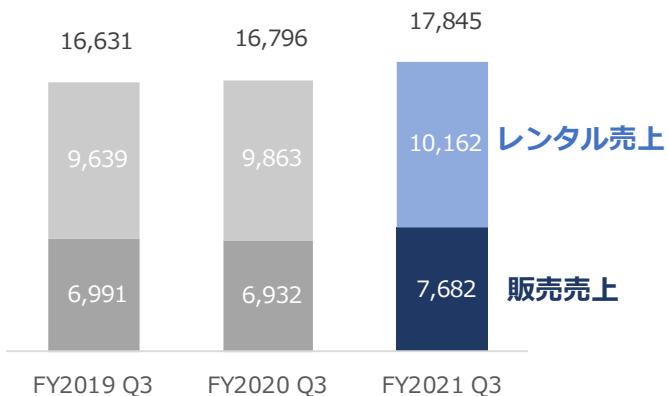
	FY2019 Q3 18年4-12月	FY2020 Q3 19年4-12月	FY2021 Q3 20年4-12月	YonY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高合計	20,790	21,128	21,233	104	0.5%
ユニットハウス事業	16,631	16,796	17,845	1,049	6.2%
モジュール・システム建築事業	3,108	3,385	2,662	△723	△21.4%
建設機械レンタル事業	1,050	946	725	△221	△23.4%
営業利益合計	2,850	2,576	3,222	646	25.1%
ユニットハウス事業	2,676	2,370	2,954	583	24.6%
モジュール・システム建築事業	266	214	271	56	26.3%
建設機械レンタル事業	140	27	30	3	11.9%
全社消去	△233	△36	△33	4	△11.1%

※全社消去の算定基準を2021年3月期より変更したため、前期の数値を今期基準に合わせて変更しています。

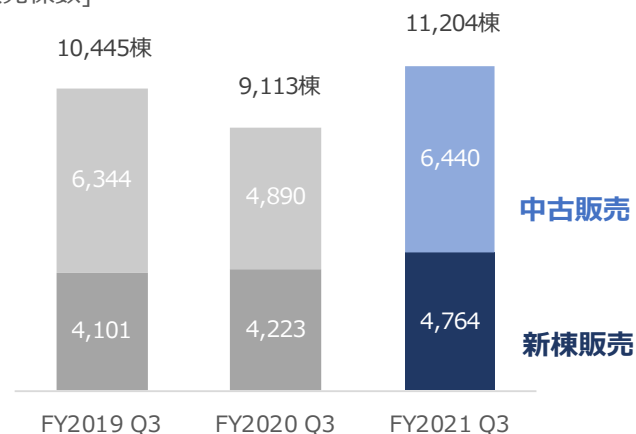
連結決算概況—ユニットハウス事業

ユニットハウス事業は、土木工事増加とコロナ対応の空間確保需要から、販売およびレンタル総じて堅調に推移した。
 利益率の高い中古販売の販売抑制解除から売上にフル寄与し、レンタルハウスについても期初からの積み増しによる増収が寄与した。

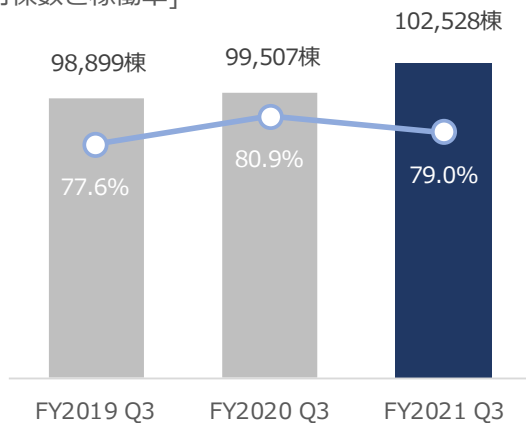
[販売売上とレンタル売上]



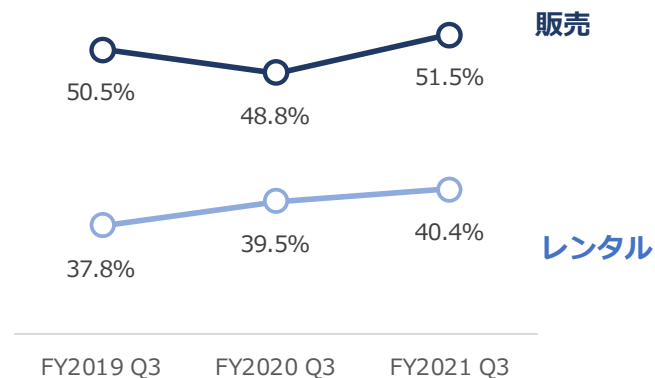
[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]



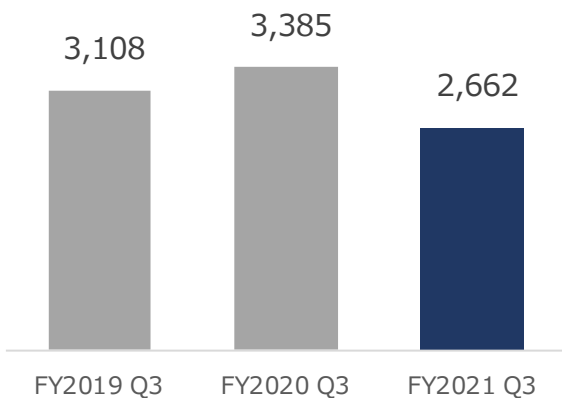
[売上総利益率]



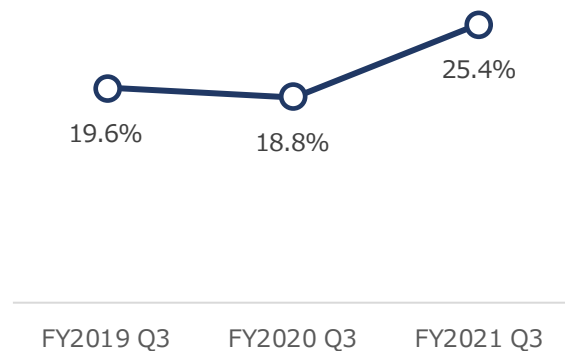
連結決算概況ーモジュール・システム建築事業

2020年4月の緊急事態宣言による受注活動の出遅れと投資マインドの冷え込みが現状も続いており、厳しい状況が続いている。そのような環境下、中小型物件の案件数が増加傾向で、通期見通しでは前々期並みの売上まで回復する見込みである。

[売上高推移]



[売上総利益率]



連結決算概況ー建機レンタル事業

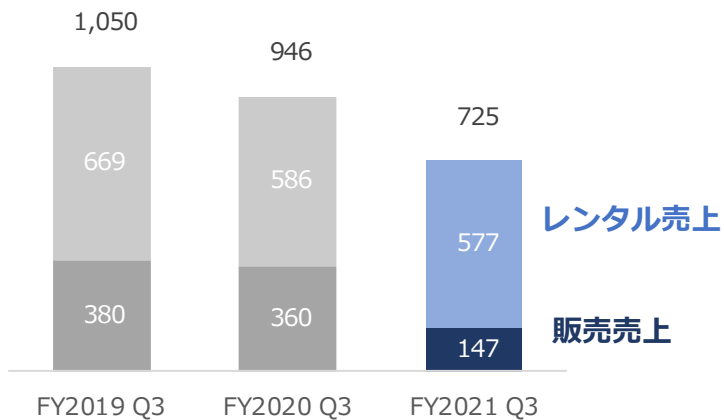
事業全般において、道南地区の景気停滞の影響を受けており減収となっている。

コロナ禍において建設機械の海外取引減少を危惧し、資産の売却を抑制した影響で販売が大幅に減少している。

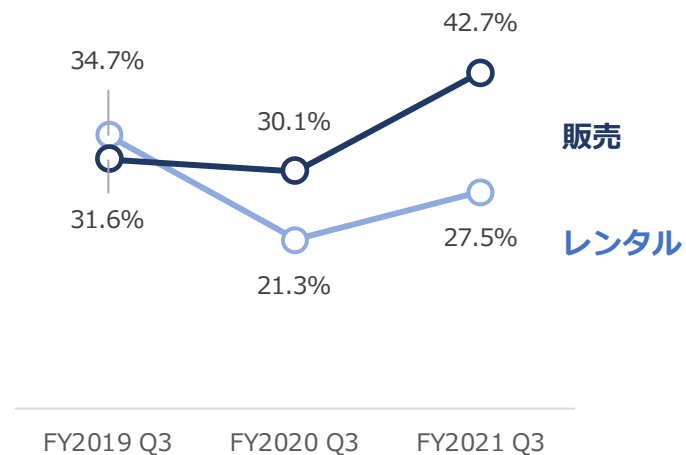
レンタルにおいては、ほぼ前期並み数値となっている。



[販売売上とレンタル売上]



[売上総利益率]

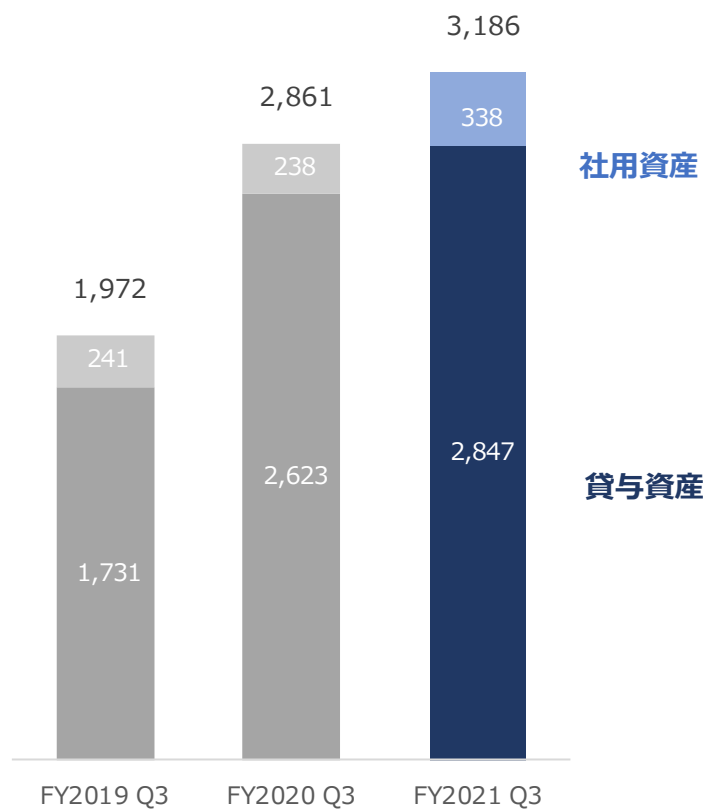


連結決算概況－設備投資額と減価償却額

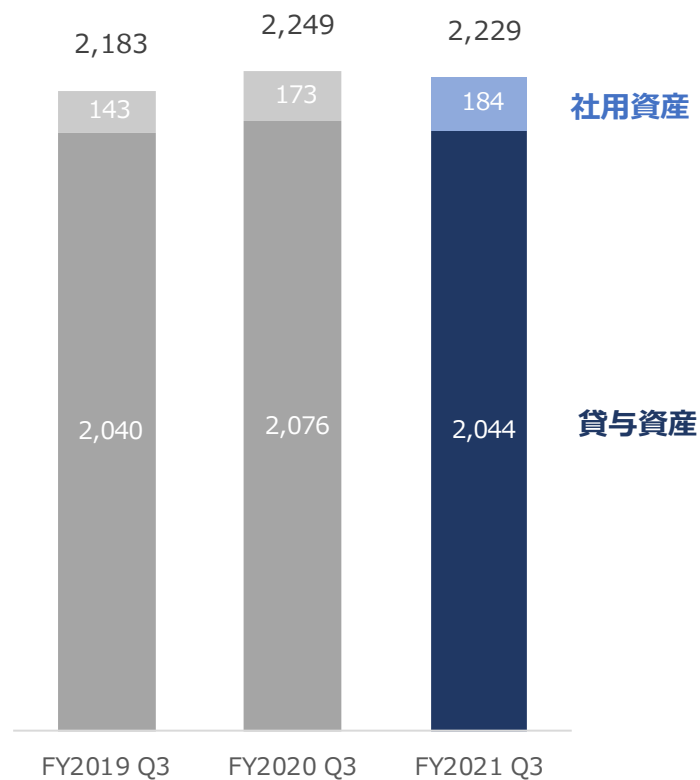
期初より生産を強化し加熱するレンタル需要に積極的に対応した。

結果、設備投資額は増加しているが減価償却費については、過年度の減産が影響し前期並みとなっている。

[設備投資額推移]



[減価償却額推移]



2021年3月期

業績見通し

※2021年1月25日業績予想修正

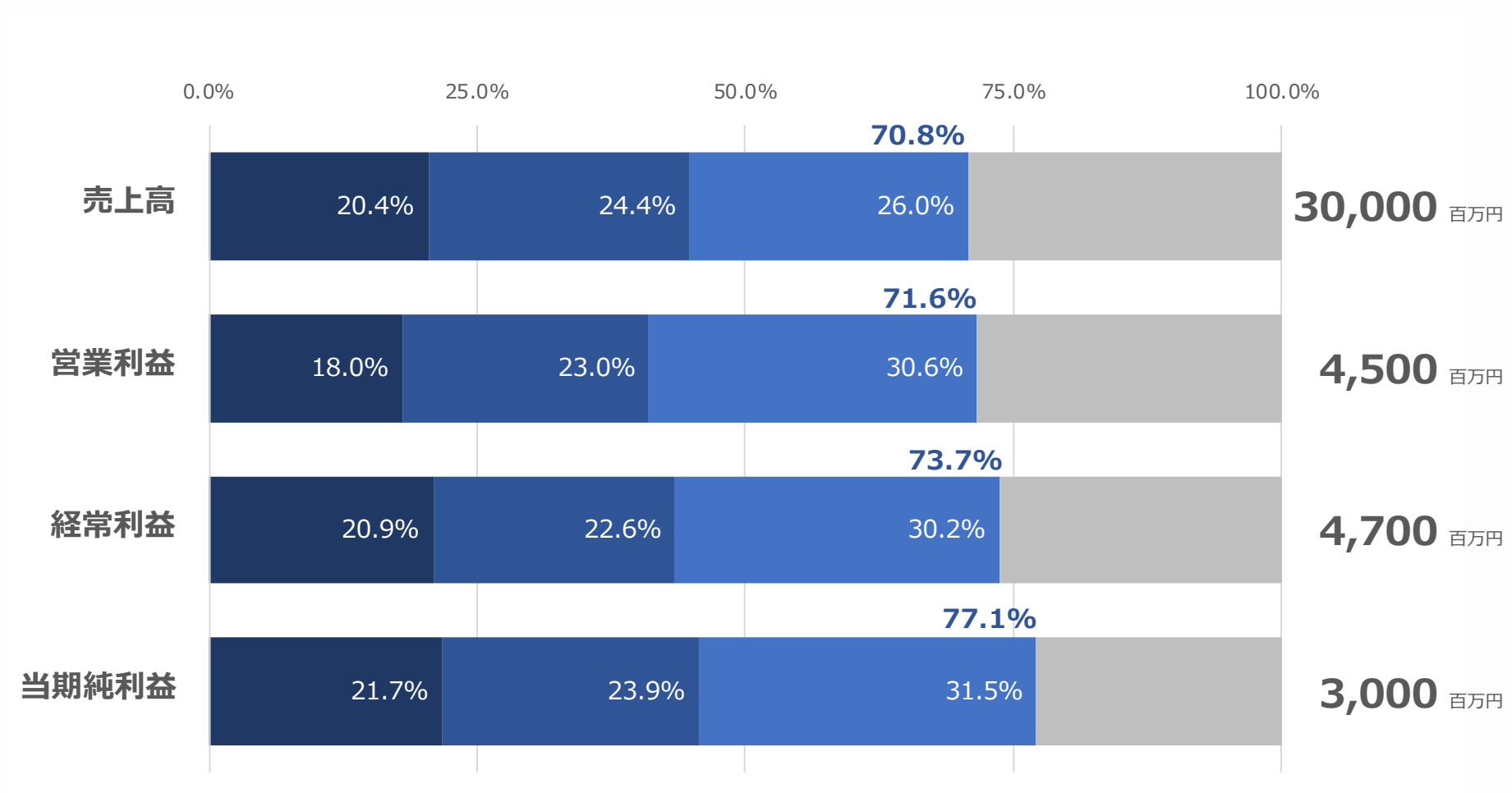
業績見通し

	FY2019	FY2020	FY2021計画	YoY	
	19年4-3月	20年4-3月	21年4-3月	増減	増減率
※単位：百万円					
売上高	28,344	29,018	30,000	982	3.4%
営業利益	3,794	3,536	4,500	964	27.3%
経常利益	3,979	3,717	4,700	983	26.4%
当期純利益（※）	2,632	2,105	3,000	895	42.5%
総資産	46,951	49,917	-	-	-
純資産	42,896	44,678	-	-	-
自己資本比率（%）	91.3%	89.5%	-	-	-
1株当たり純資産	2,785.94	2,867.61	-	-	-

※2021年1月25日に適時開示いたしました、業績予想の修正値を反映しています。

業績見通しー累計進捗率

当初想定していた新型コロナウイルスの影響による建設業界の落ち込み予測に反し、第2四半期までは昨年並みに推移。上方修正後の業績見通しに対する進捗率は、売上高では48%、経常利益は53.8%とおおむね50%程度の進捗。

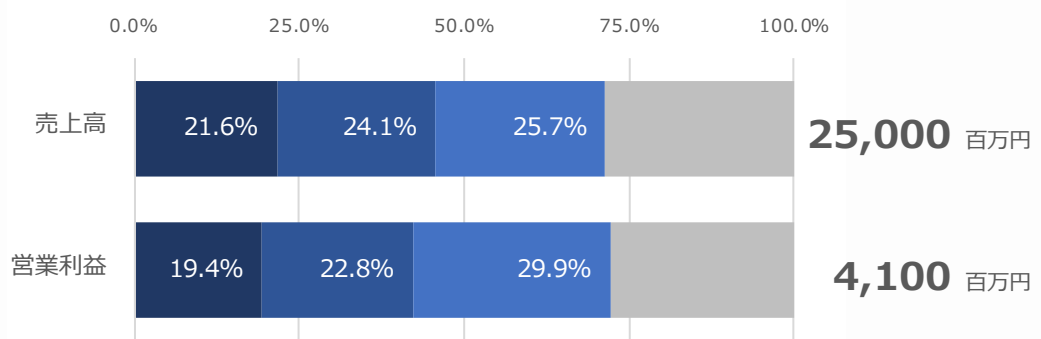


業績見通し—セグメント別

	FY2019 19年4-3月	FY2020 20年4-3月	FY2021計画 21年4-3月	YonY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高合計	28,344	29,018	30,000	982	3.4%
ユニットハウス事業	22,402	22,826	25,000	2,174	9.5%
モジュール・システム建築事業	4,426	4,920	4,500	△420	△8.5%
建設機械レンタル事業	1,515	1,272	1,500	228	17.9%
営業利益合計	3,794	3,536	4,500	964	27.3%
ユニットハウス事業	3,572	3,676	4,100	424	11.5%
モジュール・システム建築事業	352	392	350	△42	△10.7%
建設機械レンタル事業	216	12	50	38	316.7%
全社消去	△347	△545	-	545	△100.0%

業績見通し—ユニットハウス事業

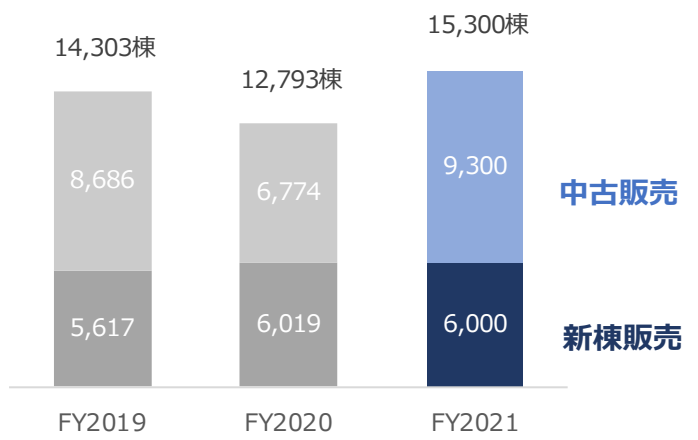
[進捗率]



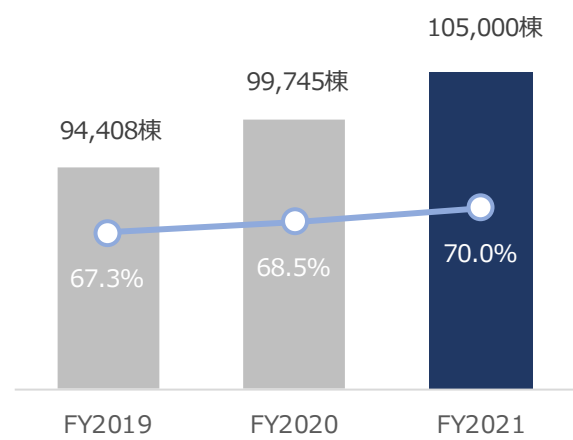
ユニットハウス事業の業績見通しは、製造強化により保有棟数10万棟を超えたユニットハウスのレンタル売上向上と、今年度より抑制解除した中古販売ハウスの売上増が継続すると予測。

営業利益は、新棟在庫の増加により前期比減額の予測。

[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]

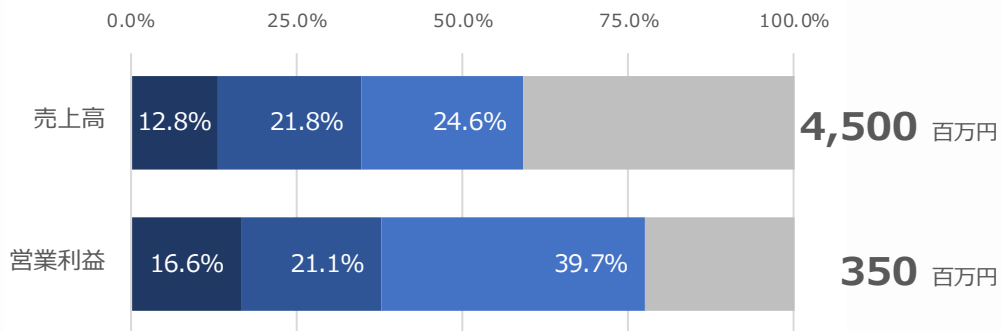


業績見通し—モジュール・システム建築事業

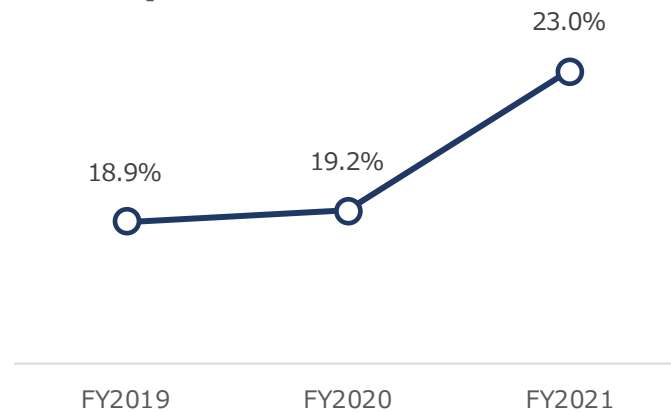
情報案件数が復調傾向にあるものの、新型コロナウイルスに対する不安は払拭できず、設備投資に対しては不透明な状況が継続すると予想。建築工事においては、建設会社や他社メーカーとの競合は必至であると判断し、下期の営業利益率は厳しい予測としております。



[進捗率]

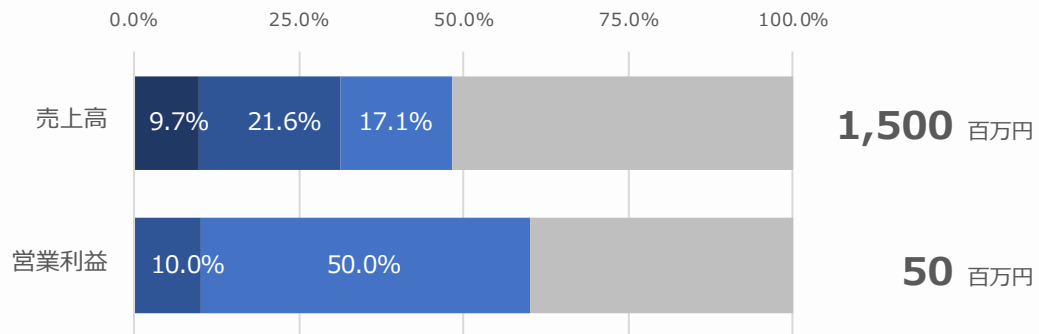


[売上総利益率]



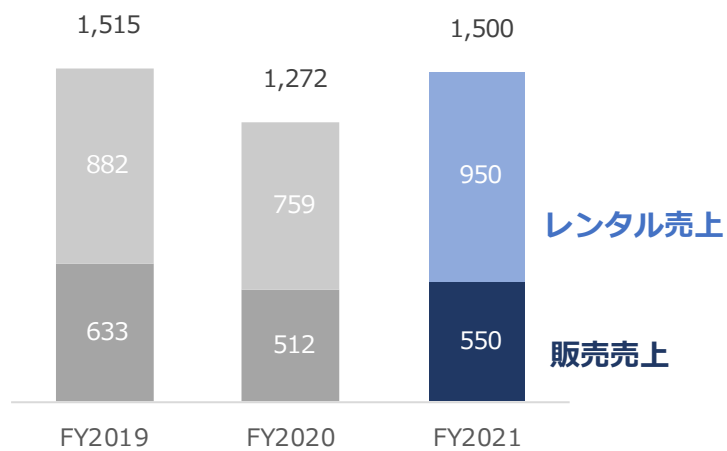
業績見通しー建設機械レンタル事業

[進捗率]

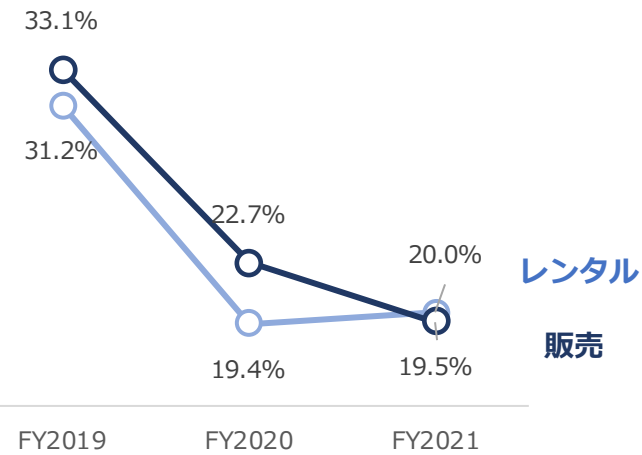


依然として厳しい経済状況が継続し、建設機械販売についても新型コロナウイルスの影響が中国をはじめ世界中で市場価格の下落が続いていることから、例年並の販売は厳しいと予想。

[販売売上とレンタル売上]



[売上総利益率]

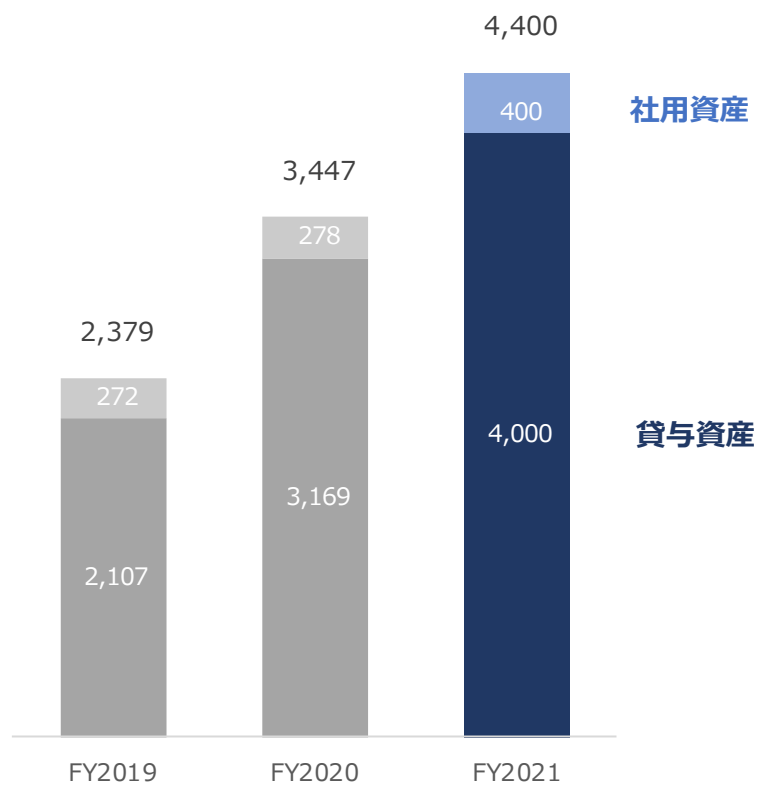


業績見通しー設備投資額と減価償却額

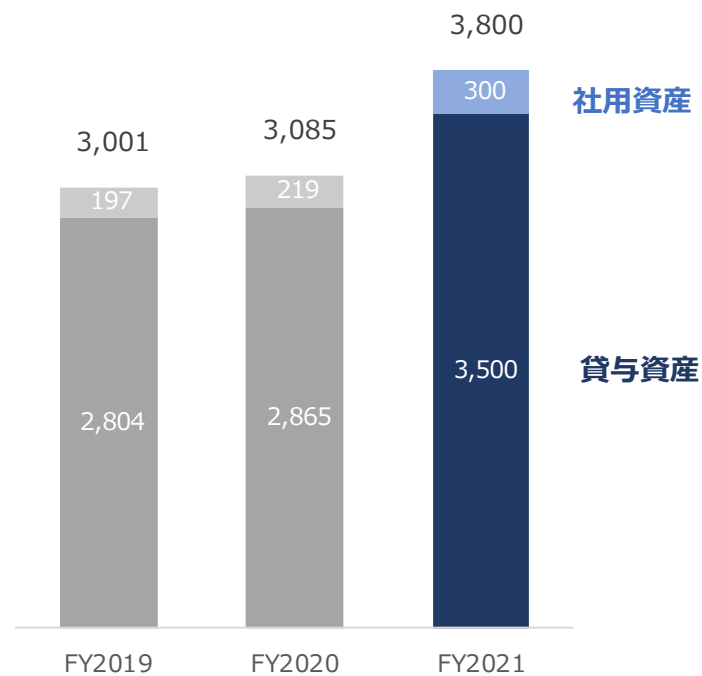
設備投資については好調なレンタル市場に対応すべく、ユニットハウス増産を継続。

減価償却額は継続してきたユニットハウスの増産により、貸与資産に占める新棟割合の増加と過年度の減産が影響し増額傾向に転じる予測。

[設備投資額推移]



[減価償却額推移]



免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

